

公益財団法人日本バスケットボール協会
平成24年度 第12回理事会 議事録

日 時: 平成25年2月13日(水) 13:00~15:47

場 所: JBAオフィス 8F会議室

出 席: <理事>

深津泰彦会長職務代行、丸尾充、梅野哲雄の各副会長、樋口隆之専務理事、伊藤信明、大神訓章、大山妙子、熊谷秀樹、坂本昌彦、佐古賢一、佐々木三男、品田奥義、庄司義明、高橋雅弘、田窪徹、野村俊郎、原田茂、堀井幹也、吉田長寿、吉田利治の各理事

<監事>

高原洋太郎、松岡憲四郎の各監事

<特任委員>

片山正明、西井歳晴、林直樹の各特任委員

欠 席: 麻生太郎会長、鈴木秀太、福井晴次、水谷豊の各理事、内山英司、小倉恭志、上島正光の各特任委員、山崎均監事

議 題

- (1) 平成25年度事業計画・収支予算について
- (2) 臨時評議員会の開催について
- (3) 国体関係について
- (4) 大会要項について
- (5) 上級審判昇格審査について
- (6) 女子ユニバーシアード日本代表ヘッドコーチについて

1. 定足数の報告

堀井理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(24名)の過半数の出席数(出席:20名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

2. 挨拶

深津会長職務代表より開会の挨拶があった。

3. 議事

議長は深津会長職務代行が務めた。

(1) 平成25年度事業計画・収支予算について (堀井理事)

本議案に先立ち、9月に開催したFIBA ASIAカップの大会収支報告があり、FIBA ASIA助成金、入場料、

協賛金等の収入の減、また、放送映像製作費、宿泊輸送費等の支出の増によって、収支として約9千万円の大きなマイナスとなっていることが報告された。これについて、招致段階での予算の妥当性、FIBA ASIAのレギュレーションの確認、状況変化の中での判断、発注金額の妥当性や決裁方法等詳しく調査、検証することとし、監事にその任を依頼することとした。尚、結果については次回理事会にて報告することとし、また、再発防止のため管理体制の強化を行っていくこととした。

次に、平成25年度事業計画(案)、収支予算(案)について提案があった。前提としては、エグゼクティブパートナー関連以外の大きな収入増は見込めないため、今年度当初予算(補正前)の10%減を基本としながら、削減分およびパートナー関連の収入を重点事業(強化事業、指導者・選手の育成事業、普及・登録推進事業、組織基盤整備)に配分したこと、また、総収支はほぼ均衡(支出1,568百万円、収入1,572百万円、収支4百万円)としたことが説明された。本内容について審議の結果、原案通り承認され、臨時評議員会にて決議することとした。

<承認>

(2) 臨時評議員会の開催について (堀井理事)

平成25年度事業計画・収支予算について審議するため、3月16日(土)に臨時評議員会を開催することが提案され、承認された。

また、基本規程(案)について、9月の理事会承認後ブロック連絡会等において説明を行う中で一部見直しの意見があったため、一部修正(※)を加えた上で、臨時評議員会にて決議することとした。

※修正部分:基本規程(案)第127条[主催権]②

「本協会は、前項の主催権を、各種の連盟、その競技会開催地のブロックバスケットボール協会もしくは都道府県バスケットボール協会、または第三者に譲渡することができる。」の条文より「または第三者」を削除もしくは「等」に変更する。

<承認>

(3) 国体関係について (野村理事)

少年種別の参加年齢について、U-16(高校1年+中学3年)に変更することが提案され、原案通り承認された。尚、この内容については、日体協と調整を図り詳細が決定されることが補足された。

<承認>

(4) 大会要項について (庄司理事)

「第11回全国デフ選手権大会」および「内閣総理大臣杯争奪 第41回日本車椅子選手権大会」の大会要項が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(5) 上級審判の昇格審査について (田窪理事)

平成24年度の昇格審査の結果、AA級7名、A級29名が推薦され、原案通り承認された。

<承認>

(6) 女子ユニバーシアード日本代表ヘッドコーチについて (高橋理事)

女子ユニバーシアード日本代表の伊與田ヘッドコーチから一身上の都合により辞退届があり、受理したことが報告された。次回の強化合宿が2月20日から予定されており、後任者の選任を早急に行う必要がある

ため、後任のヘッドコーチの選任については常務理事会に一任することが提案され、承認された。

<承認>

4. 報告事項

(1) 一般報告（堀井理事）

2013年1月の諸会議等の開催実績が報告された。

(2) 総務部（堀井理事）

次の6点について報告された。

- ・次回第13回理事会は3月6日(水)に開催すること
- ・チーム加盟・競技者登録については2月21日で今年度の受付を締め切り、3月4日から次年度の登録受付を開始すること
- ・スポーツ指導における暴力根絶へ向けて、文部科学大臣からメッセージが発信されていること、また、JBA内では日本代表チームのヒアリングを行い、暴力行為等がなかったことが確認されたこと、さらに相談窓口の設置や大会における管理・監督の徹底等具体的施策を引き続き検討中であること
- ・報道機関等からの取材に関しては、個別に対応することとはせず、必ず総務部広報担当を窓口とすること
- ・日体協の日本スポーツグランプリについて、都道府県協会からの推薦の結果、兵庫県協会推薦日笠敦氏（87歳）を候補者としてJBAから日体協に推薦すること
- ・テクニカル委員会監修の指導者向けDVDが完成し、2月中に発売開始となること

(3) 事業戦略部（吉田(長)理事）

3X3に関し、FIBA ASIA 3X3の大会参加および大会開催に関するレギュレーションについてFIBA ASIAより通達があったこと、次年度の国際大会については、男子(U-18含む)のみの派遣とし、女子については派遣を見送り、国内の推進を図ること、また、男子3X3日本代表の選考について、一般公募にてセレクションを実施することが報告された。

(4) 新リーグ運営本部（丸尾副会長）

和歌山県の新規チームについて、チーム名称が「和歌山トライアンズ」に決定したことが報告された。

(5) 競技会委員会（庄司理事）

平成25年度の競技日程に一部変更があったこと、第26回都道府県対抗ジュニア大会および第44回全国ミニ大会の協賛社に一部変更があったこと等が報告された。

(6) 審判委員会（吉田(利)理事）

1月27日～29日にシンガポールで行われたFIBA ASIAコミッショナークリニックの結果、更新者4名、新規1名が全員合格したこと、平成25年度全国審判長会議は4月6日～7日に開催する予定であること、その他海外派遣の予定が報告された。

(7) **テクニカル委員会**（佐々木理事）

U-18トップエンデバーについて、男子は3月8日～10日、女子は3月9日～11日に開催することが報告された。また、コーチライセンス制度を広く周知し、ライセンス取得を推進するため、コーチライセンスハンドブックを作成することが報告された。尚、ハンドブックには暴力行為等の防止のため、指導者モラルについての内容も盛り込むことが補足された。

(8) **国体委員会**（野村理事）

1月26日に国体検討会議を開催し、ブロック代表枠の変更(16チーム・24チーム)に関して、ブロックからの出場数(率)が平等になるよう検討を行うこととなったことが報告された。

(9) **WJBL関連**（西井特任委員）

来シーズンの開催について、スケジュール変更に伴い、現時点で46試合の会場が未定であることが報告され、改めて開催地決定への協力要請があった。あわせて収益への影響についても報告され、支援依頼の可能性についても示唆された。また、日中韓台のチャンピオンシップについて、開催日程が4月5日～7日@ソウルに決定したことが報告された。

(10) **選手登録関連**（堀井理事）

帰化選手の登録問題の進捗について、FIBAからの照会事項について2月8日に回答を提出し、近々に結論が出される見込であることが報告された。

(11) **その他**（原田理事・堀井理事）

大阪市立桜宮高校での事案について、顧問の教諭の懲戒免職処分が決定したことが報告された。これに応じて当協会としてもコンプライアンス委員会を開き、対応を検討することとした。

以上